

令和3年度 教員免許状更新講習 計画書（シラバス）

講習名	【選択】身近な素材でつくる暑熱環境測定器で熱中症危険度を調査							
会場	公立鳥取環境大学 実験研究棟 B108 学生実験室（地学）							
開設日	令和3年7月30日（金）							
担当講師	環境学部 准教授 重田 祥範							
主な受講対象者	職種	教諭					受講定員	25名
	学校種	幼	小	中	高	特支		
			○	○	○	○		
免許種等								
講習の概要	<p>学校現場においては、保健体育の授業はもとより、学校行事にあたる運動会・体育祭などが実施されている。その一方で、猛暑により救急搬送される生徒も増加しており、教員の熱中症に関する知識・意識の向上は急務である。</p> <p>そこで、本講習では身近な素材を用いて簡易的な暑熱環境測定器を作製し、温熱環境の測定方法と熱中症評価の基礎を体験的に理解する。</p>							
講習の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>暑熱環境測定器のしくみを理解し、熱中症危険度を評価できるようになる。</li> <li>熱中症予防に効果的である教育方法を検討する。</li> <li>熱中症に関して教育的アプローチができるようになる。</li> </ol>							
修了認定の方法	筆記試験							
日程 (時間割)	時間		内容					
	8:30-8:55	-	受付					
	9:00-9:05	5分	オリエンテーション					
	9:05-10:25	80分	講義：熱中症発生の仕組みと評価手法					
	10:25-10:40	15分	(休憩)					
	10:40-12:00	80分	演習1：暑熱環境測定器の作製					
	12:00-13:00	60分	(休憩)					
	13:00-14:20	80分	演習2：屋内外での温熱環境測定					
	14:20-14:35	15分	(休憩)					
	14:35-15:55	80分	演習3：熱中症の危険度評価					
	15:55-16:05	10分	(休憩)					
	16:05-16:45	40分	認定試験					
16:45-17:00	15分	アンケート記入・事務連絡						
持参物・課題等	① 受講票, ② 筆記用具, ③ 野帳 (ノート可)							
履修上の 注意事項等								